

静岡県在宅歯科医療推進室からのお知らせ⑤-2(障害のある方)

「歯医者さんに行きたくない!～何がイヤなのでしょう?～」

特別支援学校の高等部に通うB君17歳。学校の歯科健診でむし歯があることがわかりました。

母親 「B君、大変だ!むし歯ができちゃった!すぐに歯医者さんに行かなくちゃ!」

B君 「歯医者さん、嫌だ。」

母親 「嫌じゃないよ、歯が痛くなったらごはんが食べられなくなっちゃうよ。」

B君 「歯医者さん、嫌だ、行かない。」

母親 「じゃ、せめて歯磨きをしっかりやらなくちゃ。」

～就寝前～

母親 「さあ、歯磨きをしっかりやって寝よう!はい、磨いて!」

B君 「(シャカシャカ) 終わり」

母親 「もう終わり?早い早い!だからむし歯ができちゃったんだよ、はい、もう1回!」

B君 「終わり」

いつもこんなやりとりで終わってしまいます。



【何がイヤなのでしょう? 自閉の傾向のある方は、どこかに「こだわり」があるかもしれません。】

<「今はこれをやる時」だから>

- ・本人に聞く体勢がないと「興味のない話」「怖い話」を聞くのは難しい。
家族からの大事な話を伝える良いタイミングで話してみる。

<怖いイメージを持っている>

- ・「むし歯」や「歯医者」という言葉を聞くと、怖いイメージだけが先行しやすい。
- ・歯や口にまつわる「怖い」エピソードがあるかもしれない。
過去の経験/乳歯の生え変わりの時に血が出て怖かった、転んで口をぶつけて痛かった等
家族やテレビ等からの情報/「歯医者で注射(麻酔)が痛かった」「歯を抜かれた」等
家族は「むし歯」に敏感で「歯磨きしなくちゃ!」と真剣になるあまり、顔や口調が怖くなる。
- ・このようなエピソードがないか振り返り、歯や口について怖いイメージがわからないよう、普段の生活でも気をつけてみる。歯磨きのあと「きれいになった、良かった!」など良いイメージの言葉を交わしてみる。
- ・B君の場合、まずは歯科医院に行ってみてもらうことを目標に、治療などを連想することを話さないで
おく。「学校からお手紙がきたよ。B君の歯のことのお手紙。歯の先生は歯磨きがすごく上手だよ。」
「歯の先生のところには歯磨きして貰いに行こう。B君の歯ブラシを持って行こう。」



<「歯医者」は知らない場所>

- ・歯科医院が身近な場所になるように「〇〇スーパーの隣にある。家から車でいこう。」などと話す。
- ・外出した時などに歯科医院の前を通過し「ここが〇〇歯科医院」と話す。2か月くらい繰り返しておく。

<見通しのつくことを少しずつ少しずつ>

- ・医科大学の場所や建物を覚えたら

「今度、〇〇歯科医院の駐車場まで行ってみよう」

「今度、〇〇歯科医院の駐車場に降りてみよう」

(歯科医院に協力を仰ぎ)「今度は駐車場で、歯の先生に「こんにちは」って言おう」

「今度は駐車場で歯の先生に歯磨きして貰おう」→以後、少しずつ建物内に入る目標を立ててみる。

大事

少しでもできた事があったら

- ◎ 褒める
- ◎ 「好きなこと」が待っている
(ごほうび)



【歯磨きは意外と難しいもの:どこの歯を?何回こする?】

- ・磨く順番を絵カードで見ながら、1か所10回こする。等、実行しやすい方法を見つける。
磨き初めの場所～磨き終わりの場所までの見通しがつき、習慣化しやすい。家では「家族が仕上げ磨きをして終わり」としておくのも良い。終了時は「歯磨きできました。きれいになったね」等、良く褒める。

静岡県在宅歯科医療推進室 (静岡県歯科医師会内)

〒422-8006 静岡県静岡市駿河区曲金3丁目3番10号 (開室時間) 平日 10:00～15:00

TEL)054-202-6480 FAX)054-202-5009 email)zaitaku@s8020.or.jp HP) https://s8020.or.jp/